



いしかわ多胎ネット ニュース・レター

No.6 2009年4月



日本双生児研究学会第23回学術講演会の報告



日本双生児研究学会の第23回学術講演会が、大阪市立大学大学院看護学研究科（阿倍野キャンパス）において、去る1月25日（日曜日）に開催されました。

全体で5つのセクションに分かれ（全部で17本の研究発表）、多胎児自体を対象とした研究、多胎児を利用してなされた研究（双生児法などによる）、多胎家庭への支援の実践的研究など多彩な研究発表がなされました。

学会といふとなんだか難しく聞こえるのですが、双生児研究学会の発表会は、多胎児を持つ母親の不安や母乳の問題、家庭における事故対策、地域の保健所の多胎教室、中高年双生児におけるがん死亡の特徴など身近な話題が多く、理解しやすいものとなっています。今回報告者で一番印象に残った発表は、「中学生・高校生双生児のいじめられ体験」です。結論から言うと、双子を理由としたいじめ体験はほとんどないというところに落ち着いたのですが、自分の経験からしても、双子を理由としたいじめは本当にまれだと思います。しかし、もっと重要なのは、いじめられるいじめられないということよりも、たとえ何らかの理由でいじめられたとしても、あるいはいろいろな困難に遭遇したとしても、自分を完全に理解してくれる人間がもう一人この世に存在していることの力というものがあると思います。多胎児でよかったと思う多胎の究極の強みです。

「いしかわ多胎ネット」も参画している多胎家庭へのピアサポーター派遣事業に関しては、「多胎育児支援 地域ネットワーク構築事業 第3報 その1「新しい地域多胎ネット構築の方向性と課題」」および「多胎育児支援 地域ネットワーク構築事業 第3報 その2「多胎児家庭へのピアサポート事業の確立」」との二つの発表がありました。ピアサポーター派遣事業についての発表は、これで3年連続になるのですが、学会においてもピアサポートの重要性と有効性についての認識が浸透してきたとの印象を持ちました。

次回の第24回学術講演会は、本ネットの代表である大木秀一先生を大会長として、2010年1月23日（土曜日）に金沢で開催される予定です。学術講演会が金沢で開催されるのは2005年に続き2度目です。詳しい内容はまだ決まっていますが、多胎の関係者にためになる研究発表が沢山なされると思います。どうぞ今からご予約に入れておいて頂き、ご参加いただければと思います。

志村 恵

総会のご案内 2009年5月31日

いしかわ多胎ネットの総会を行います。当日は、西村真実子先生（石川県立看護大学小児看護学）を講師にお迎えし講演会と交流会を開催します。

日時：2009年5月31日（日）午後1時から

場所：教育プラザ富樫（金沢市富樫3-10-1）

託児もありますので、皆様ぜひおこし下さい。

いしかわ多胎ネットに参加して…（能登地区座談会の報告：2008年10月25日）

チャイルドケアハウス小丸山 総括責任者

いしかわ多胎ネット「ピアサポート活動」担当 原 範子

初めての能登地区での集い（集会）では、たくさんのメンバーや多胎児を抱えている親の方の参加があり感謝いたします。

能登、七尾での開催でもあり、支援センターが隣接している保育園の多胎児3組の親子にも参加を呼びかけ、その中で金沢から越してきた方などは特にこの会のおかげで子育ての中で助けてもらったと話していました。七尾でも支援センターにきて頂くようになり、いろいろとお話を伺ううちに、お母様の演奏家としての活動を知り、今回ぜひ、この集いの場で演奏して頂けないかと話すと「未熟で恥ずかしいですが、お世話になった皆様のために弾きます」と快いお返事を頂くことができ、とても和やかな温かい会の始まりとなりました。



七尾でのピアサポート活動を今後どのようにやっていったらいいのか、わからなかった私にとって、今そばにいる多胎児の親子に対して、子どものことは、保健所の保健師との連携で発達、育児支援を始めていこうということで、保健所での多胎児の定期的な相談日に参加して、支援センターでできる子育て支援を考えて、親子と話し合ったりしています。9月には1組の親子が家庭で育児の補助が欲しいということで、支援センターに来てもらって、入浴介助、離乳食、お母さんの話し相手などをしました。その際に、多胎児を抱えているお母さんの育児負担感を強く感じました。また3歳までの保健所の定期的な相談後の支援も大切であることもわかりました。


そんな中で、Yさんのお母さんが演奏する姿は、実際の育児の大変さの中でも、社会との交流だけでなく自分のキャリアを生かせる場合は、本人が一番うれしい。子育てで忘れていた「もうできない感」を克服するきっかけにもなったそうです。今も、演奏活動を続けているそうで、ますます輝いてきました。



また、この多胎ネットでの集いに参加して、多くの意見や、体験を聞いていくことで、またいろいろな子育て支援の中で、私のやれることが見えてくると感じます。全てをやってあげるのではなく、今してほしい最小限の手助けが、少しのやる気を引き出し、やってみようという意識をもってくれそうな気がしました。手は貸すのではなく、添えてあげる・・・が私の多胎ネットでの役割であると集いでわかったことです。

ピアサポート活動報告

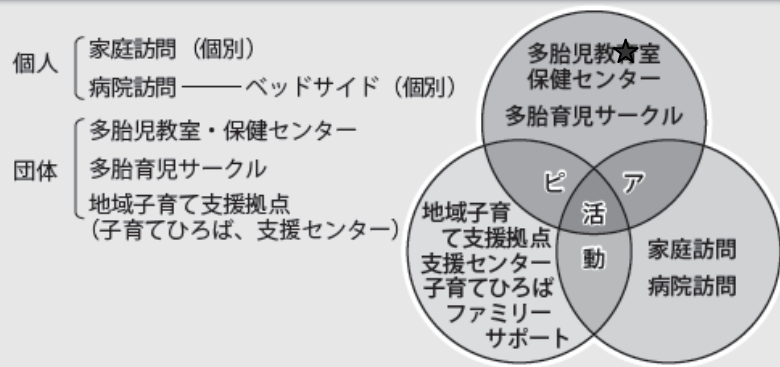
玄田朋恵

「こんなつもりじゃなかった」「こんなはずじゃなかった」「何で、私はふたご（みつご）なんやろう!」「何で!」「なんでやろう?」等とママ達からの声!!  予想外の事が起きてしまう、起きて当然なのが、多胎の妊娠、出産、育児だと思います。先輩ママが、予想できることを一緒に考えたり、どうしたらよいか一緒に良い方法を見つけたり、ママ達のお話をゆっくりと聞いてあげたりできれば、少しでもパニックにならないのではないのでしょうか～

多胎家庭が、安心して楽しく元気に育児できるようにと願いながら、ピアサポート活動に取り組んでいるところです。

20年度は、いしかわ多胎ネット独自のピアサポート活動として、石川県立看護大学附属地域ケア総合センターの調査研究事業という形での活動となりました。多胎ネットとしての活動が4年目に入り、ピアサポート活動も周知され、今年度は能登地域からの申し込みもありました。県内全域 35 家庭 55 回（6月～12月：1月以降も継続中）の訪問活動となっています。

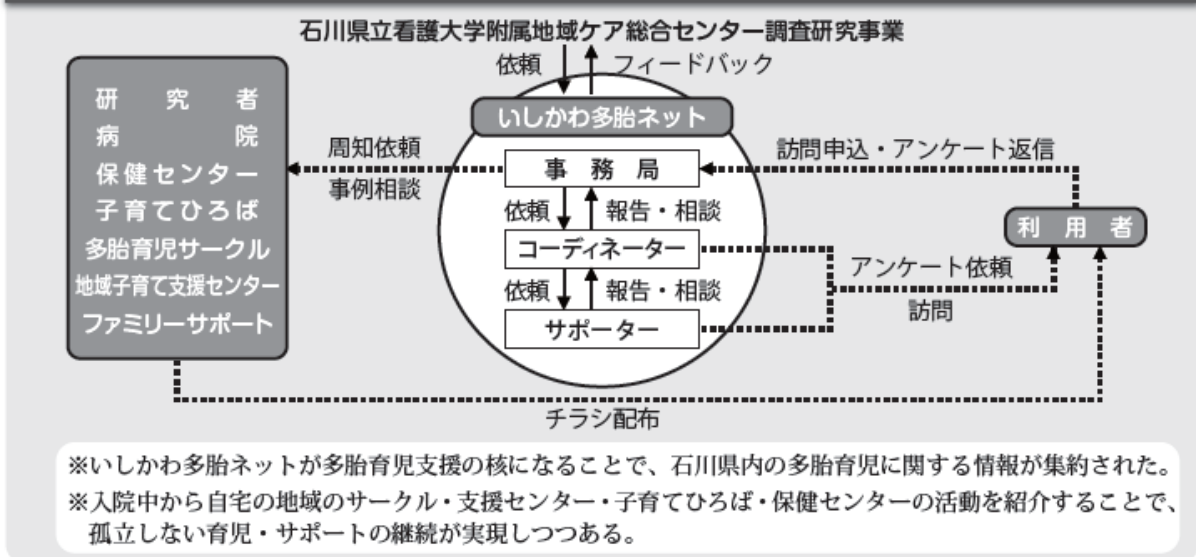
●支援の形態



更に、石川県では日本双生児研究会会員の石川県立看護大学の太木秀一先生、金沢大学人間社会学域の志村恵先生方がおられるので、他県へ講師の先生をお願いしなくてもコーディネーター及びピアサポーター講習会を開催できる強みもあります。21年4月24日には、コーディネーター講習会を開催しコーディネーターを増員して各地域でのピアサポート活動の充実と拡大を計っていきたいと思っています。また、コーディネーター会議を増やして事例検討、勉強会を行い、多胎家庭、保健センター、医療機関等から信頼されるように真摯に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後共ご協力ご理解の程よろしくお願い致します。



●ピアサポートの流れ





● 県内多胎児サークルの紹介 ●



にこ²くらぶ（かほく市子育て支援センター 愛遊館 毎週月曜日午前中）
 チップアンドデール（金沢市泉野保健センター 毎月第二火曜日午前中）
 風っ子 KIDS（金沢市） <http://kazekkokids.web.fc2.com/>
 多胎児支援グループ風（金沢市）
 ピーナッツキッズクラブ（小松市）
 ほっとらんど（白山市）
 まめまめきっず（白山市）
 てんぽなキッズ（加賀市） <http://blogs.yahoo.co.jp/manmatenpo>

● 育児支援組織の紹介 ●

チャイルドケアハウス小丸山 地域子育て支援センター（七尾市）
http://www.ans.co.jp/n/komaruyama/index_3.htm
 子育て生活応援団（金沢市）
<http://www.kosodateo.com/>
 NPO 法人おやこの広場 あさがお（白山市）
<http://www.asagaohiroba.com/index.html>
 NPO 法人かもママ（加賀市）
<http://www.kamomama.com/>



予告！ ふたご祭り

いしかわの“ふたごちゃん・みつごちゃん・よつごちゃん”大集合！
 Twins Festa 2009 を7月頃に松任総合運動公園（予定）で開催する新企画を検討中
 詳細はまた後日！お楽しみに！
 ぜひご参加ください。



日本双生児研究学会第24回学術講演会のご案内

日時：2010年1月23日（土） 9:30～17:20
 会場：石川県立生涯学習センター

学会の詳細はまだ決まっていますが、多胎児の保護者、多胎児クラブ関係者の方の参加費軽減と託児を予定しております。また、一般演題の募集も行いますので皆様のご参加・ご発表をよろしくお願い致します。

<問い合わせ先>

大木 秀一（第24回大会長）

〒929-1212 石川県かほく市中沼ツ7-1

石川県立看護大学 健康科学講座

Tel&Fax: 076-281-8377

E-Mail: sooki@ishikawa-nu.ac.jp

いしかわ多胎ネット お問い合わせ先

志村 恵（電話・FAX 連絡）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学文学部

Tel: 076-264-5345 Fax: 076-264-5362

E-mail: megumi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

大木 秀一（郵便物・電話・FAX 連絡）

〒929-1212 石川県かほく市中沼ツ7番1

石川県立看護大学健康科学講座

Tel / Fax: 076-281-8377

E-mail: sooki@ishikawa-nu.ac.jp